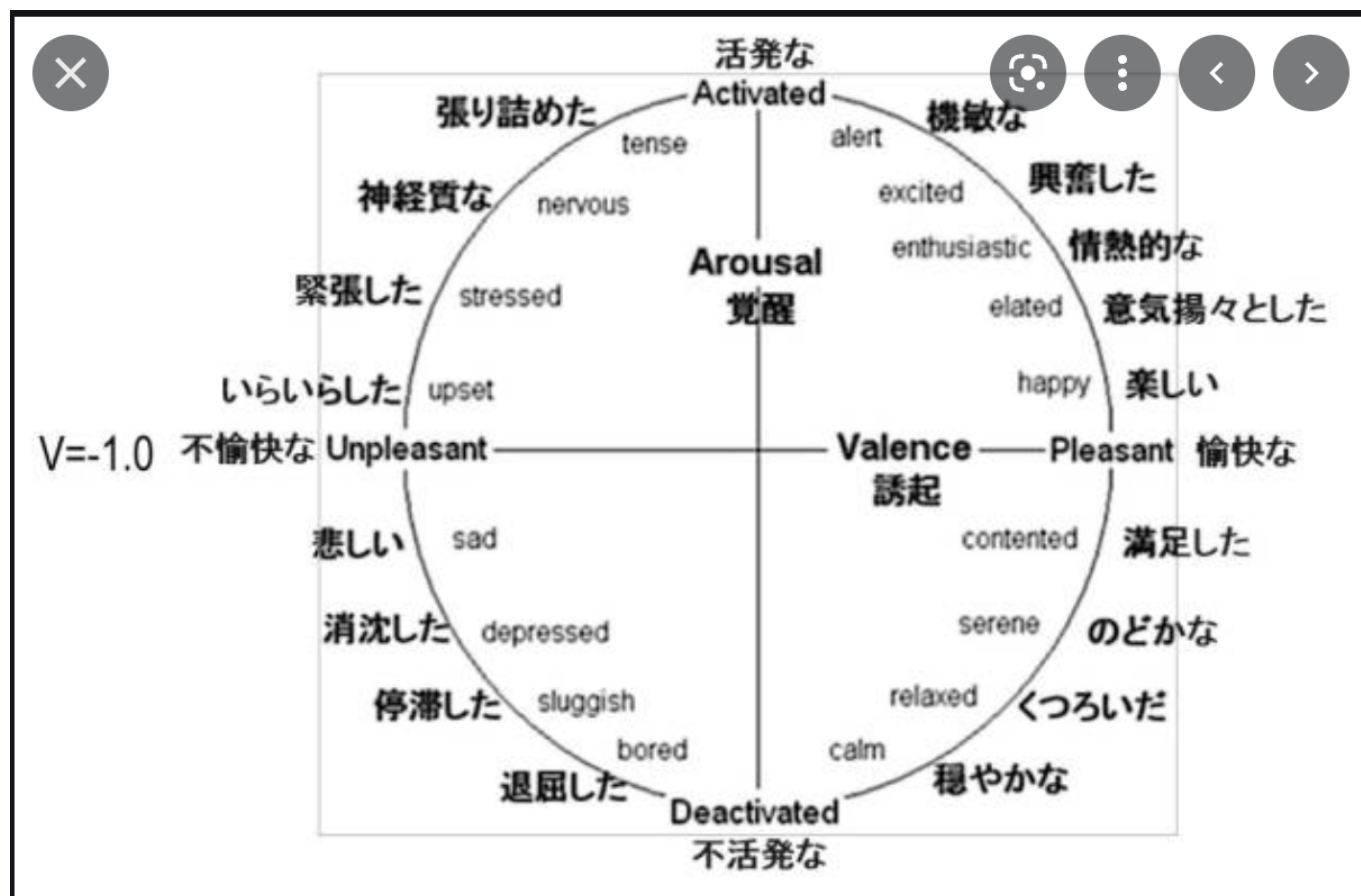


歌詞印象推定手法の評価実験

Arousal-Valence 平面について



Russell の Arousal-Valence 空間(以下 AV 空間)は横軸に快-不快(ポジティブ-ネガティブ)という感情価, 縦軸に興奮-弛緩(active-passive)という感情価をとった二次元平面である.AV 平面の象限によって大まかに喜怒哀楽の印象に分けることができる。

第一象限 -> 喜, 第二象限 -> 怒, 第三象限 -> 哀, 第四象限 -> 楽

つまり, ポジティブで興奮している場合は喜(ワクワク, 喜び, 至福)の感情グループ, ネガティブで興奮している場合は怒(激怒, イライラ, 嫌悪, 暴力的)の感情グループ, ネガティブで弛緩している場合は哀(失望, 憂鬱, 退屈)の感情グループ, ポジティブで弛緩している場合は楽(満足した, 穏やか, ゆったりとした)の感情グループに分類することができる。

本研究では歌詞をこの平面上にマッピングすることで歌詞の印象を推定する マッピングした歌詞を四象限のグループにクラスタリングした

以下アンケートにより実験に参加してください。 [アンケート](#)